

作品詳細

折りがみ式 みつろうラップ

アピールポイント

- ・蜂たちが作るミツロウを使用。土に還る素材です。
- ・水をはじくミツロウの特性を活かして布にミツロウを染み込ませ乾かし、通常はラップのように包んで使用。
- ・約50cm角に大きく作成。折り紙のように折って箱型にできます。たたくで携帯可能。
- ・洗えてくりかえし使用できます。

アインシュタインは「もし蜂が地球上からいなくなったら、人間は4年以上生きることにはできないだろう」と言いました。

現在、ネオニコチノイド系の農薬でミツバチの減少が心配されているとされています。

ミツロウを使うことはサステナブルな未来を考えるきっかけにもなるのではないのでしょうか。

折りがみ式 みつろうラップ

洗って繰り返し使えるみつろうラップ

みつバチが作るみつろうは土に還る素材です。

約50cm角に大きいサイズで折り紙のように折って箱型に、たたんで持ち運びも可能。

水をはじきパンやおにぎりなどを包むこともできます。くりかえし洗って使えます。

たたんで持ち運び可能



広げて折って箱型に



持ち帰りのパンを入れて



折り紙のようにフタ部分を閉じて持ち帰り



縦に包むこともできます



折りがみ式 みつろうラップ(概要)

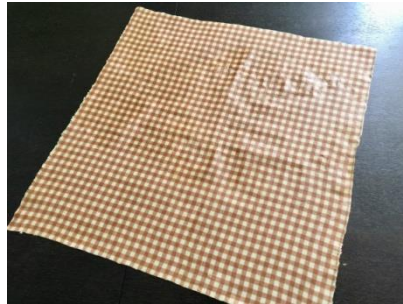
◆みつろうラップの特徴

- ・蜂たちが作るみつろうを使用。土に還る素材です。
- ・水をはじくみつろうの特性を活かして布にみつろうを染み込ませ乾かし、通常はラップのように包んで使用。
- ・約50cm角の大きいサイズで折り紙のように折って箱型にして食材をいれたり、包んだりして持ち帰り。たたんで携帯できます。
- ・洗えて約1年使用可能。

たたんで持ち運び可能



広げて折って箱型に



持ち帰りのパンを入れて



折り紙のようにフタ部分を閉じて持ち帰り



縦に包むこともできます



◆サステナブルな商品にするために

・地元ローカルなミツロウを使用

今回は横浜保土ヶ谷区の畑などで養蜂をおこなっている養蜂家さんのミツロウを使用。現在は西洋ミツバチが多くなり、日本ミツバチは少なくなっているそう。

アインシュタインは「もし蜂が地球上からいなくなったら、人間は4年以上生きることはいかならう」と言いました。

現在、ネオニコチノイド系の農薬でミツバチの減少が心配されているといえます。(EUではネオニコチノイド系農薬の使用ができなくなりましたが、日本はまだ使ってよいことになっています...)

ミツロウを使うことはサステナブルな未来を考えるきっかけにも。

東京の銀座や府中では街ぐるみで養蜂している市民団体さんもいます。身近なミツロウが活用できるといいですね。

・布はオーガニックや無農薬栽培の布を使用

インドの綿では児童労働で綿の栽培を行っていたり、使用した農薬が雨水によって水たまりに混じり、素足である子供たちの足が爛れることがあるそうです。農薬を買うため借金し、返済できず自殺に追いやられる生産者がいるとも...

オーガニックやフェアトレードな綿を選ぶことが持続可能な農業にもつながります。

日本では福島県でオーガニックの綿を栽培している方達があります。できればローカルな素材が使えるとフードマイレージ的にもいいですね。